

1. 日本政府の輸出規制に揺れる韓国経済

日本政府が決定した高純度フッ化水素、レジスト（感光材）、フッ化ポリイミドの韓国への輸出優遇措置を外した案件。この素材の日本企業の世界シェアは7割〜9割だそうです。韓国内では反日意識を背景に一大事件と受け止められています。

半導体製造等にも欠かせない戦略的な素材。サムスン等半導体産業が韓国経済を引っ張っている現状では、輸入が完全に止まると半導体製造が半年後には完全ストップするらしいのです。韓国国内で製造しようとしても2年以上かかるようです。

韓国政府は元徴用工や従軍慰安婦等の問題のすり替えだと主張しています。その主張は正しいのでしょうか。日本経済新聞7月11日付は韓国政府が摘発した戦略物質の違法輸出の摘発件数が2015年からの累計で156件に上ると報じています。文政権への交替前2015年の摘発数は14件でした。政権発足後は急増し17年48件、18年41件、19年は3ヶ月で31件だそうです。恐ろしい数字です。

輸出が規制される重要物資は軍事利用ができるもの。北朝鮮に渡ったりすれば日本はその脅威に強く晒されます。昨年12月に発生した自衛隊機に対する韓国軍艦のレーダー照射問題。これも韓国軍艦が北朝鮮船の瀬どりを傍観していたのを自衛隊機に発見されないように問題をすり替えたとの報道もあります。文政権は本当に信用できません。

今回の措置は禁輸ではなく、今中国や台湾にも行っている輸出規制と全く同じなのです。これをもって日本は中国や台湾から強く非難されたことはありません。韓国の異常さが特出しています。

さて本項で主張したいのは1つ。**韓国がこのように狼狽しているのは、日本に戦略物質を全面的に異存しているという事実です。**一般企業に例えれば、それがなくては製造は出来ないという最重要な部品を社外から全て購入している為、「貴社には販売しません」とされると自社の社運は一挙に傾いてしまうのです。**一社依存体質は絶対に避けなければなりません。**自社で内製化していくのも重要です。**できないとすれば戦略的互惠関係を維持できるよう全力を尽くさないといけません。**失敗事例に学ぶではありませんが、この機会に長期的な調達戦略を今一度確認しておくことをお勧めします。

2. 時間当り労働生産性の分析の勧め

中小企業では来年から時間外労働の法規制が始まります。その準備は進んでいますか。上から強制的に「残業を減らす」ではなく現場サイドで「社員自ら時間外労働を減らす」という方策が重要です。

その際の**キーワードが生産性を高める**です。労働生産性を高めるにはより**少ない労働時間の投入でより多くの売上高(や付加価値)を得るという仕組みの構築**が必要です。労働生産性の分析は一般的に決算期に行っていることが多いと思います。しかも社員数や人件費などの数値を使っていることが多いでしょう。それを**投入総労働時間を基準とした生産性の計算**をしてみてください。

まず社員とパート等を含めた全従業員の総労働時間を計算します。これを分母にして売上高や付加価値を除きます。これで1時間当りの売上高等が算出できます。これを**日、週、月、年と時系列に並べていくと時間当り生産性の趨勢が診えてくるので総労働時間を統制**していきます。なお**労働時間の1割程度は意識すれば即座に短縮**できます。60分で行う仕事を54分で出来るようにすれば良いのです。要は**意識の問題**なのです。

3. 忘却曲線と継続は力なり（コツコツと実践）

私事で申し訳ありませんが、今年1月1日に立てた年間目標である国家資格の合格を掲げました。妻と子供3名にも宣言しました。その試験は6月23日にあり合格して目標を達成できました。

人は老いと共に物事を忘れ易くなります。エビングハウスの忘却曲線という法則があります。今覚えたものでも2日経つと8割は忘れるという法則です。就学時代、「予習、授業、そして復習を」と先生に何度も言われたことの意味が良く分かります。**忘れない為に、忘れるスピードを遅くする為に復習を何回も繰り返す。**そうすれば、海馬で記憶した**短期記憶**が**脳新物質**へ伝播し**長期記憶**としてしっかりと蓄積されていくのです。

「**継続は力なり**」、私の好きな言葉の1つです。私は**15分、One-Quarterを大切に**しています。**15分の積み重ねは偉大**です。週6日勉強すると6日で1時間30分、月で6時間30分、1年で78時間も時間が捻出！できます。会社経営も閃きを生む時間、15分！の確保が出来るかにかかっています。